

| | | | |
|---------------------------------|---|---------|-------------------------|
| 1. 科目名 (単位 数) | 心理学入門 (2単位) | 3. 科目番号 | GEBS1110 GELA1310 |
| 2. 授業担当教員 | 久保 貴 | | |
| 4. 授業形態 | 講義・演習(ディスカッションを含む) | 5. 開講学期 | 春期 |
| 6. 履修条件・ 他科目との関係 | 心理学系科目の中で最初に履修することが望ましい。 | | |
| 7. 講義概要 | 心理学は、人の行動や感情を科学的に研究することを通して、人間を理解しようとする学問である。本科目では、心理学という学問の入門的な学習として、心理学への興味を高めるために、歴史や特徴を背景とした心理学的思考法を体験的に学習する。また、心理学の主要な分野における最も基礎的な概念と理論に幅広くふれながら、理解する。 | | |
| 8. 学習目標 | 1. 心理学への興味を高め、後の心理学系専門科目の学習につなげることができる。 2. 心理学が生まれてきた歴史を概観し、説明することができる。 3. 心理学的な思考方法を身につけ、心理学系専門科目を学ぶための基礎を身につける。 4. 世間一般の心理学のイメージと、学問としての心理学との違いを理解し、説明することができる。 | | |
| 9. アサインメント (宿題) 及びレポ ート課題 | アサインメントとしては、講義前にはテキストの該当箇所を読み、講義後は知識の定着を図るため、再度、テキストやレジュメに目を通す。 | | |
| 10. 教科書・参考 書・教材 | 【教科書】サトウタツヤ・渡邊芳之『心理学・入門 [改訂版] 心理学はこんなに面白い』有斐閣アルマ、2019年。 【参考書】講義において必要に応じて提示する。 | | |
| 11. 成績評価の規準 と評定の方法 | ○成績評価の規準 1. 心理学への興味を高め、後の心理学系専門科目の学習につなげることができたか。 2. 心理学が生まれてきた歴史を概観し説明することができたか。 3. 心理学的な思考方法を身につけ心理学系専門科目を学ぶための基礎が身についたか。 4. 世間一般の心理学のイメージと学問としての心理学との違いを理解し説明することができたか。 ○評定の方法 学則で定められた単位取得の条件(3/4以上の出席)を満たしていることを前提として、授業態度(授業におけるグループ発表等への積極的参加、授業のまとめ等のアサインメント)50%、試験(小テスト等を含む)50%として算出した合計得点により成績評価を行う。 | | |
| 12. 受講生への メッセージ | 1. 3/4以上の出席は必須です。 2. 座席指定で授業をおこなう場合には、指定された座席で授業を受けてください。席の移動は認めません。 3. 指定された座席に基づくグループを作り、グループディスカッションを行います。グループ毎に司会者、記録者、発表者を決めて積極的なディスカッションを行ってください。 4. 授業妨害となる行為は厳に慎んでください(上記、成績評価の方法参照)。 5. 学期末試験の持込み(ノート、配布資料等)の可否は、全受講生の受講態度や参加姿勢によって決定します。一部の受講生の授業態度が悪い場合でも、すべての受講生の持込みを不可としますので、お互いに声をかけあって積極的に授業に参加してください。 | | |
| 13. オフィスアワー | 授業において周知する。 | | |
| 14. 授業展開及び授業内容 | | | |
| 講義日程 | 授業内容 | 学習課題 | |
| 第1回 | オリエンテーション、心理学とは何か | 事前学習 | 教科書の序章(pp.1~18)を読む。 |
| | | 事後学習 | 講義の要点をまとめる。 |
| 第2回 | 知覚と認知(1)―感覚と知覚 | 事前学習 | 教科書の第6章(pp.149~151)を読む。 |
| | | 事後学習 | 講義の要点をまとめる。 |
| 第3回 | 知覚と認知(2)―認知 | 事前学習 | 教科書の第6章(pp.151~158)を読む。 |
| | | 事後学習 | 講義の要点をまとめる。 |
| 第4回 | 知覚と認知(3)―記憶 | 事前学習 | 教科書の第6章(pp.158~165)を読む。 |
| | | 事後学習 | 講義の要点をまとめる。 |
| 第5回 | 学習(1)―行動とは何か | 事前学習 | 教科書の第7章(pp.168~174)を読む。 |
| | | 事後学習 | 講義の要点をまとめる。 |
| 第6回 | 学習(2)―古典的条件づけ | 事前学習 | 教科書の第7章(pp.174~180)を読む。 |
| | | 事後学習 | 講義の要点をまとめる。 |
| 第7回 | 学習(3)―オペラント条件づけ | 事前学習 | 教科書の第7章(pp.181~190)を読む。 |
| | | 事後学習 | 講義の要点をまとめる。 |
| 第8回 | 発達(1)―ライフサイクル(新生児から幼児期まで) | 事前学習 | 教科書の第4章(pp.91~112)を読む。 |
| | | 事後学習 | 講義の要点をまとめる。 |
| 第9回 | 発達(2)―ライフサイクル(児童期から老年期まで) | 事前学習 | 教科書の第4章(pp.112~126)を読む。 |
| | | 事後学習 | 講義の要点をまとめる。 |
| 第10回 | 知能―知能、心理学的アセスメント | 事前学習 | 教科書の第5章(pp.128~146)を読む。 |
| | | 事後学習 | 講義の要点をまとめる。 |
| 第11回 | 性格(1)―性格とは何か | 事前学習 | 教科書の第2章(pp.47~57)をまとめる。 |
| | | 事後学習 | 講義の要点をまとめる。 |
| 第12回 | 性格(2)―性格の形成 | 事前学習 | 教科書の第2章(pp.57~65)を読む。 |
| | | 事後学習 | 講義の要点をまとめる。 |

| | | | |
|------|---------------|------|----------------------------------|
| 第13回 | 社会的行動（1）—対人認知 | 事前学習 | 教科書の第3章（pp.69～80）を読む。 |
| | | 事後学習 | 講義の要点をまとめる。 |
| 第14回 | 社会的行動（2）—集団 | 事前学習 | 教科書の第3章（pp.80～90）を読む。 |
| | | 事後学習 | 講義の要点をまとめる。 |
| 第15回 | まとめ | 事前学習 | これまでの内容について、教科書やノートなどで、要点を再確認する。 |
| | | 事後学習 | 講義全体を振り返り、知識の定着を図る。 |
| 期末試験 | | | |